くまもと障害者労働センター通信

2013年度
第1号
2013.04.05

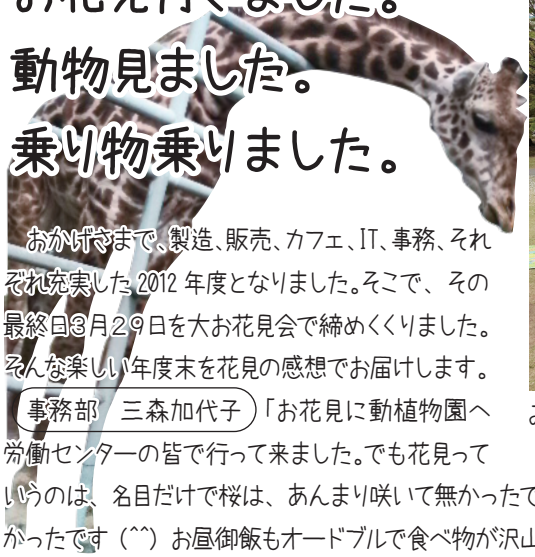
ウィズ ～ともに～

WITH

おれんじ村

発行：社会福祉法人 くまもと障害者労働センター　〒861-8039 熊本市東区長嶺南 1-5-40
TEL：０９６-３８２-０８６１　FAX：０９６-２８５-７７５５

お花見行きました。
動物見ました。
乗り物乗りました。



み～んなでかんぱ～い。総勢２８名＋チビ２名。一年間おつかれさまお花見会。

おかげさまで、製造、販売、カフェ、IT、事務、それぞれ充実した 2012 年度となりました。そこで、その最終日３月２９日を大お花見会で締めくくりました。そんな楽しい年度末を花見の感想でお届けします。

事務部　三森加代子「お花見に動植物園へ労働センターの皆で行って来ました。でも花見っていうのは、名目だけで桜は、あんまり咲いて無かったです(泣)。(うそだー。結構咲いてたました。)でも、いい天気に恵まれて良かったです（^^）お昼御飯もオードブルで食べ物が沢山あったから選び放題で楽しかった。バイキング気分にもなったし。でもこのときはいつもより色々沢山食べたからお腹がパンパンになったよ～（>_<）で、お昼御飯を食べ終わったら乗り物に乗りたい人と動物を見たい人にわかれて、みんな思い思いに楽しんでました。私もバイキング２回と空中ブランコに１回乗ったよ。楽しかったしストレス発散になったけど、久々に絶叫系乗ったから気持ち悪くなりました～。」

IT部　衛藤陽一「花がたくさんあって、花見には絶好の場所でした！動物園の新幹線に２７年ぶりに乗り、昔を思い出しました。バイキングは胃がむかむかしたけど、おもしろかったです。」

製造　磯脇健二郎「労働センターの花見は初参加で、とても楽しくまた行きたいです。ビール楽しく頂きました。絶叫系は腹がひっかかって乗れなかったので、E 君とミニミニ新幹線に乗りました。子ども連れの人以外で大人が乗ってるの、僕らだけでした。」

カフェ　千賀崎和世「お花見、動物園に行ってさる見ました。ゴハン、オードブルとか食べておいしかったです。ある人と２人でメリーゴーランド乗りました。楽しかったー。何 10 年かぶりに乗ったし。コーヒーカップグルグルにも乗りたかったけど、時間がなくて乗れなかったのが残念でした。来年もお花見行きたいです。」

ぎりぎり桜に間に合って、楽しい締めになりました。で、最後にこんなこと思いました。遊園地の乗り物、車いすを利用してる人には、なかなか敷居が高い。ような気がします。少しかかえたり、ささえたりそれだけだけど、敷居が高い。ような気がします。ずかずかと「乗りたい。」といわないと。「やりたい」は「やる」に今年の僕のテーマです。

藤堂

マラソントークのご報告

２月16日、熊本学園大学14号館高橋守雄記念ホールで「共同連マラソントーク熊本･九州」を開催しました。当日は、熊本各地の働く場、教育関係者、市民団体の方をはじめ、宮崎などからも駆けつけて頂き、７０名程（スタッフ除く）のご参加を頂きました。労働センターからはほぼ全員が、主催者として役割を担当しながら参加。少し難しいお話も、昼食後の重たい目をこすりながらみんなで聞きました。

『誰も切らん。共に働く場が、ここにある。～いろんな困難を抱える人たちと共に働ける社会的事業所をめざそう～』をテーマに、まずは斉藤縣三さん（ＮＰＯ法人共同連事務局長）と花田昌宜さん（熊本学園大学教授）、労働センターから百田がそれぞれの立場で発題。その後、質疑応答で議論を深めました。『収益を上げるための事業をどのように確立するのか』、『誰もが当たり前に生きていくことを、どのように保障するのか』、『教育の段階から、障害のあるなしにかかわらず、地域の学校に共に学ぶことの必要性』など、会場のみな様より多くの問題提起や課題、意見を頂きました。僕が一番印象に残ったのは、「一般的に言われる『障害者は仕事ができない』というときの『仕事』とは誰が決めたのでしょうか。決して障害者は仕事ができないんじゃなく、この『誰かが決めた仕事』の中身を考え直すことで『できない』から『できる』にかわるんじゃないか」という会場からの声でした。僕らが日々悩みながら実践してるのは、まさしくそんなことじゃないかな、と思いました。

たくさんの方々のご参加ありがとうございました。

そんなこんなで、議論も深まり、充実した時間になりました。みな様より頂いた言葉を、今後の私たちの運動に取り入れていこうと思いますし、当日参加された方々がそれぞれの場で実践されることを期待します！これからも「一般就労」でも「福祉的就労」でもない、いろんな状況の人が共に働く場所としての「社会的事業所」作りを進めていこう！と改めて思えたシンポジウムのご報告でした。

藤堂

講演に寄せて

労働センターの中心事業の一つに、交流・人権啓発事業があります。代表の倉田を中心に年間３０校以上の学校から講演に呼んで頂いています。くわしくはホームページに掲載していますので、今回は、講演後の生徒さんの感想より、３点お届けします。こんなリアクションが私たちの財産です。

僕は障害者は、自分では何も出来ず、不幸な人だなっと思っていました。しかし倉田さんの話しや今日の授業を受けて、間違ったとらえ方をしたのは、僕だったと改めて感じました。これまでは周りを見ていたつもりでも、実際は何も見えてなく、考えていたつもりでも考えてなかったと思いました。これまでは、困っている人がいるなら助けてあげようという上から目線でいたと思います。「かわいそう」とかは、その人を下にして言ってた口調でした。この授業で思った事は、「どんな人間でも１人では生きていけない。だからお互いに協力しあって生きる」という事を考えました。これからは、「してあげる」でなく「一緒にしよう」という考えが大切だと思いました。差別は、その人だけの問題でなく周りの人の問題だと思うので、僕も周りの人として考えていくたちばに立ちたいです。そして、これから先たくさんの人々とのかかわりを大切にして、みんなが平等で楽しく生きていけるように頑張っていきたいと思いました。

M.Ｈさん

この前のこうえんでいろいろまなんだけど、先生たちがきにくわなったらしくて、また今日色々と学びました。自分がくらたさんのようなしょうがいをもっていたら、物おぼえがついたぐらいには、じさつしてると思います。りゆうは、いじめをうけるとか、さけられるとかではなく、人にめいわくをかけたくなかったとゆうことが、こうえん前の自分のかんがえでした。だけど今になっては、しょうがいがもっているから、はずかしいとかゆうかんがえがなくなりました。

Y.Ｍさん

この前の講演を聞いて、私は、いろいろと考えました。今まで私は、障がい者の人は障がい者とひとくくりにしていました。でも、じゃあ障がい者が何？健常者ってどういう意味なんだろう、と考えると、みんなそれぞれ苦手なこととかを持っているし、だからそれをお互いで一緒にしたりすればいい、「障がい者だから」、と壁をつくっている自分はおかしいと感じました。これから、いろいろな人たちと出会うと思うけど、せまい視野で考え、壁をつくらず、その人の良い所や本質を見ることが大事だと思いました。「周りと違うことを恥じなくていい。」という言葉をきいて、私は気持ちが明るくなりました。人と違うのはあたり前だし、それをいやだなって思うんじゃなくて、それはそれで認めて、堂々と生きていきます。倉田さんの講演をきいて、自分に自信が持てるようになった気がします。ありがとうございました。これからも、いろいろなことにチャレンジして下さいね。

K.Ｉさん

全体ミーティング

３月１８日、来年度の事業計画の全体ミーティングを開きました。各部署の今年度の反省と、来年度の目標・計画を話し合いました。

昨年と比べると、全体的に売り上げが伸びているなぁと思いました。みんなが頑張った成果だと思います。計画にあわせて、予算も組んでいて、新しいパソコン(→ひさじまんのが新しくなる！？)の、導入も検討されているようで、うれしい予算案でした。

新しく始めることとして、カフェをまずは週に1回、夜に営業しようという話がありました。センターで働く人は、ひとり暮らしの人もいるので、夕食の時間が寂しいという声、栄養管理がうまくいかないという声があったからです。バランスがとれて、さらに安い晩ご飯、そして会話が楽しめる。そんな場所を作っていこうと思います。

また、障害当事者の中には、年齢を重ねる事で障害が重度化したり、二次的障害が出始めている人もいます。そこで、今後、みんなが過ごし易い環境作りを、と言う事で、一軒家を借りあげた「社宅」も考えています。みんなが楽しく生活出来れば、それもありかなと思いました。他にも、色々と報告がありました。来年度の労働センターの発展が楽しみです。

※カフェの週1夜ごはんの企画進んでます。毎週木曜日１８時～２０時OPENです。まずは労働センターにかかわる人限定ですが、将来的には地域に開放していと思っています。夜の ORANGE CAFE に期待してください。

久島

新人さんの紹介

昨年末より３名の新人さんが労働センターで働いています。今回はこのお三方に自己紹介していただきます、どうぞ～。

Nさん（男性・29オ）

２月からおれんじ村でお世話になっているＮです。3月は休みが多く、まだまだ体調が安定しませんが毎日出て来れるよう体調管理をしっかりして行きたいと思います。

皆さん優しく、ストレスなく過ごすことが出来、感謝しております。まだまだご迷惑を掛ける事も有るかと思いますが今後とも宜しくお願い致します。

山本円香さん（やまもとまどか・女性・ひみつ）

山本円香です。2 月から製造部で楽しく仕事をさせて頂いています。お菓子作りや料理をするのがとても好きなので、たくさんお菓子を作って皆さんと楽しく仕事をしていきたいと思っています。これからよろしくお願いします。

松村紀幸さん（まつむらのりゆき・男性・21才）

松村紀幸です。しゅみは音楽、マンガ、DVD かん賞、スケルトン。好きな芸能人はAAA の伊藤千晃さん、戸田恵りか、吉高由里子。おれんじ村に入って５ヶ月、販売部で頑張っています。僕はご飯が大好きで昼御飯がすごく足りないですが、太るのも嫌なので腹1，2分目で我まんしてます。

今年度も４月から1名、高卒のフレッシュマンが入社しました。どんどんにぎやかになっていく労働センターです。すぐ事業規模も大きく！と思いがちですが、急がずにゆっくりあゆみを進めようと思います。今回紹介した３人の新人さんと４月入社のフレッシュマン、どうぞよろしくお願いします。

楽しいキャンペーンを展開しますよ～。

昨年、私たちおれんじ村では、バレンタインギフト、ホワイトデーギフトの販売に初めて取り組みました。

バレンタインでは、長年フェアトレードの商品を取り扱ってきて、特に秋冬期限定のチョコレートには、たくさんのファンの方がいらっしゃいます。けっして安くはないチョコレートですが、フェアトレードの大切さをご理解頂き、また消費することでフェアトレードに参加して頂くことは、販売していてとても嬉しいです。ありがとうございます。おいしい「ほんもの」のチョコにかかわる、ボリビアのカカオ農家の方々、スイスのチョコ職人の方々、フェアトレードカンパニーの方々、そして選択して消費して下さるみなさんに感謝々々です。

また、ホワイトデーでは新たに開発したオリジナルのクッキーに、たくさんのご注文を頂きました。2 月、3 月とラッピングと配達におおあらわでした。でも、「たいへんだ～」と口では言ってましたが、みんな笑顔で作業してました。つたないラッピングですが、機械的にならず、「自分が贈るもの」「贈られたら」という気持ちでのぞみました。とはいへ、いたらない点もあり、イメージと違う一ということもあったかと思います。申し訳ない気持ちを、ラッピング技術の向上に取り組むことで、ご容赦頂けたら幸いです。今年度も季節の応じてキャンペーンを企画しますので、どうぞよろしくお願いします！

藤堂

おれんじ ORANGE かふぇ CAFE 通信

絵手紙教室便り

ORANGE CAFE

講座の様子。この後ティータイムがあります。

生徒さんの作品をカフェ内に掲示してます。

毎月第２・第４水曜日は、ORANGE CAFE でおれんじ絵手紙教室を開きます。 長年応援団をして下さっている、一甲さんを先生に、毎回１０名前後のご参加を頂いてます。参加費は基本無料で、講座が終わってからデザートセットを頼んで頂いてます。

春も近まり、お花畑と化してる最近の講座ですが、色とりどりの花を題材に、生徒さんの筆もすらすら進んでるように見えます。当然！と３月には、生徒さん宅の桜も並んでました。

基本下絵を筆ペンで書いて、色をのせて、言葉ものせる。そんな絵手紙です。一甲さんは「下手でいい。下手がいい」とおっしゃられます。とはいへ、最初から自分らしく書くのはとっても難しいです。「うまく書こう」と思ってしまうんですよね。でも、回を重ねる毎に素直な自分を表現できるようになっていきます。で、できた作品はカフェ内に展示させて頂いてます。想うままに、自分を表現されてる作品ばかりです。でも、一番良くできた作品は皆さん持って帰られるので、その作品でお手紙をもらった方しかみられません。１２年度の最終日に初めて自分で描かれた生徒さんが「孫に贈る」と、できた絵手紙を大事そうにしまっているのが印象的でした。

初回参加は道具も必要ないので、よかったらのぞきに来て下さいね。カフェの気まぐれデザートを準備してお待ちしておりますよ～。

NEW!

焼かりんとう「さくら」新登場

だんだん暖かく・・・いや暑くなってきましたね。桜も今年は早く咲き、今はほとんど葉になっています。 さくら…葉…新緑…そんな春を感じられる新商品を発売しました！

パッケージは、やさしい桜色。
中身はさくらの葉のきれいな緑色。
着色料を不使用の自然のやさしい色。

原料は、もちろん国産のさくらですよ！まさに、今の季節にぴったり！
食べると、桜の香りがひろがります（私は桜もちをたべてる気分になります）。
春限定なので、見かけた方は、お早めにゲットして下さいね！
春限定、「焼かりんとう　さくら」をよろしくおねがいします！
次は、こどもの日企画で会いましょう―――♪

製造部一同！

お礼とお願い

私たちの共働事業は、障害のある人もない人も一緒に働いて、厳選した材料を使用し、安全なお菓子を製造し、皆様のお手元へ届けることで成り立ちます。

この３か月で、延べ541か所の事業所やイベントで販売をさせて頂きました。紙面上ではありますが、厚く御礼申し上げます。いつもごひいきにして頂き、ありがとうございます。

おかげさまで、12年度は前年比プラス20％を達成できました。これもひとえにいつも購入して頂いているみなさんのおかげです。新製品の開発やキャンペーンの展開に力をいれますので、今年度も、どうぞよろしくお願い申し上げます。

製造部＆販売部

編集後記

13年度1号は、1月～3月のことをまとめてお届けします。3か月毎の発行は、おかげさまでなんとか今回も達成できました。

桜もおわり、新年度を迎え、さらに前進できる様、フレッシュな気持ちで毎日の業務に精を出しています。

日々の活動はブログ「おれんじ村の村民日記」で報告してますので、そちらもぜひご覧になって下さいね。

久島＆藤堂